

ITプロジェクト現場のためのリスクマネジメントの本質と導入ノウハウ実践講座【オンラインライブ】（4126054）

リスクマネジメント成功の鍵は問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階でリスク要因を抽出・分析し対策を施すことです。リスクに気づく力、読み出す力を学びます。「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講義とケーススタディを通してリスク管理の重要性の理解を深めていきます。

開催日時	2026年11月25日(水) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	プロジェクトマネジメント(プロジェクトマネジメント)
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アラインメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSP0) ＜略歴＞ 1. BIPROGY (旧：日本ユニバック) (1983年～) 2. 三井住友信託銀行 (旧：三井信託銀行) (1990年～) 3. ピーエム・アラインメント (2006年～現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPM0支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・PM関連：PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連：JUAS (イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNP0向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーを支援する上位管理者、もしくは、プロジェクトマネージャーの経験がある方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

◆◆ITプロジェクト現場のためのリスクマネジメントの本質と導入ノウハウ実践講座◆◆

＜本講座の特徴＞

1. リスクマネジメントの本質・重要性と手法を習得できる。

2. 実践演習を通して、ITプロジェクトマネージャーとしてリスクマネジメントのノウハウを体験できる。

◇趣旨

本研修は、デジタルトランスフォーメーションの進展により、関係者の多様化と不確実性が急速に高まるITプロジェクト環境において、プロジェクトマネージャーが実務で即活用できるリスクマネジメント能力を強化することを目的とした実践型講座です。

リスクを単なる「脅威」としてではなく、プロジェクト目標の達成可能性に影響を与える不確実要因として捉え、

リスクマネジメント計画の立案、リスクの洗い出し、定性的・定量的分析、対応策の策定、監視と是正のプロセスを体系的に学習します。

さらに演習を通じて、ステークホルダーごとのリスク許容度や意思決定特性を踏まえた合意形成スキル、
リスク情報の可視化と説明力を高め、問題の未然防止と発生時の被害最小化を両立できる実践力の獲得を目指します。

他にはないリスクマネジメントの講座です。
ご自宅からでもオフィスからでも、ぜひ、実りある参加型オンライン研修にご参加ください！

◇内容・スケジュール：

1. リスクマネジメントの概要

リスクマネジメントの本質論

リスクは目標に対する不確実性

リスクは脅威のみで良いか？

リスクの語源は「勇気を持った試み」

リスクと問題

2. リスクマネジメント計画（講義、事例の解説）

なぜ計画が必要なのか、誰をリスク会議に参加させるのか？

3. リスク識別（演習）

リスクを特定するさまざまな手法を理解する

（演習）リスク標準モデルを活用して、リスクマネジメントの本質に迫る

4. 定性的リスク分析（定性、定量）

定性と定量の本質的な違い

5. リスク対応計画

リスク監視とコントロール

リスクマネジメントが成功している事をどう判断するのかを理解する

事例研究：大規模プロジェクトと小規模プロジェクトの運用方法の違いとは？

6. リスク監視とコントロール

なぜ、リスクがエスカレーションされないのか？

7. 実践演習

<ケーススタディ>

・あなた、プロジェクトマネージャー（PM）は、次世代の大規模
パッケージ開発を任されました。

・PMとして、経営者に何をリスクとして報告すべきですか？

・担当部長の立場としては、どのように判断すべきですか？

・親会社も含めたグループへの影響を考慮して、リスクをどう判断すべきですか？

・なぜ、リスクがエスカレーションされないのでしょうか？

<参加者の声>

・体系的にリスクマネジメントや対応が学べて、学びたいこととのギャップがなくよかった。

・前半は講義、後半はグループワークという構成で、
前半得た知識を即グループワークで実践できるため、理解しやすかった。

・グループワークの時間が長くあり、実際にリスク対策を考える際のよい練習になったと思った。
また、リスクマネジメントの考え方として大変参考になった。